

14. てんかん地域診療連携体制整備事業 2025年度石川県拠点機関としての活動状況報告書

医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院 てんかんセンター
廣瀬 源二郎、中川 裕康

1. てんかん地域診療連携体制整備

本院は2013年にてんかんセンターを設置し、2018年10月には厚生労働省および石川県によるてんかん地域診療連携整備事業において『石川県てんかん診療拠点機関』として選定された。てんかんセンター設置以来、県内の医療従事者を対象とした最新のてんかん診断・治療に関する知見を提供する研修会や、てんかん患者およびその家族を中心に、住民のてんかんに関する知識と理解の向上を目的とした公開講座を毎年開催し、てんかん医療の質の向上、患者と家族への相談支援、ならびに正しい知識の普及啓発に努めてきた。さらに、専門医育成を目的として脳波判読カンファレンス「浅ノ川総合病院てんかんカンファレンス」を毎月開催しており、現在では医師のみならず多職種が参加し、県外からの参加者もみられるカンファレンスへと発展している。2024年9月からは名称を「北陸てんかん・脳波カンファレンス」へと改め、日本臨床神経生理学会（脳波分野）の研修病院である福井赤十字病院との共同開催となり、県内のみならず北陸地域全体のてんかん医療の向上に寄与している。本院は北陸唯一のてんかんセンターとして、石川県のみならず富山県・福井県の医療機関からの紹介患者も多く、着実に実績を積み重ねている。今後も全国の拠点機関と連携し、てんかん患者に対する適切な医療提供と多様な支援の充実に努めていく所存である。

2. 事業進捗状況

1) 石川県てんかん治療地域連携協議会

2018年、当院てんかんセンター長の廣瀬源二郎を代表として「石川県てんかん治療地域連携協議会」が設置された。2025年度は下記21名を世話人として活動している。2026年3月には、世話人会、地域医療連携セミナー、県民公開講座を開催する予定である。

◆石川県てんかん治療地域連携協議会世話人

職種等	人数
脳神経外科医	1名（てんかん専門医：1名）
脳神経内科医	2名（てんかん専門医：2名）
精神科医	1名
小児科医	4名（てんかん専門医：4名）
てんかんコーディネーター	2名（看護師2名）
石川県健康福祉部	3名
石川県保健福祉センター	1名
石川県教育委員会	1名
日本てんかん協会（波の会）	3名
事務局・会計	3名

2) てんかん診療拠点機関の診療実績と患者受診状況

2025年1～12月の当院てんかんセンターにおけるてんかん診療実績は下記の通りであった。昨年より脳神経外科の患者数がやや減少し、それに伴い、てんかん手術件数も減少した。

◆てんかん診療実績（2025年1～12月）

◇てんかん診療の実績

項目	小児科	脳神経内科	脳神経外科	合計
てんかん外来新患者数（年総数）	53	108	184	345
てんかん再来患者数（1日あたり平均）	5.3	5.5	8.9	19.7
てんかん入院患者数（年総数）	34	24	267	325
てんかん在院患者数（1日あたり平均）	0.2	1.5	15.2	16.9

ビデオ脳波モニタリング施行患者数（年総数）	36	5	17	58
てんかん手術患者数	0	0	14	14

◇てんかん手術内訳患者数

術式	人数
焦点切除術	5
深部電極設置	0
脳梁離断術	1
VNS 刺激装置植込み術	4
VNS 刺激装置電池交換術	4
合計	14

◇てんかん患者受診状況調査

項目	類別	人数
受診患者（実数）	入院	325
	外来	1247
受診患者（年齢別）	成人	1175
	小児	255
受診患者数（性別）	男	771
	女	659
長時間ビデオ脳波モニター検査数（延べ数）		177
外科手術数		14
紹介患者数		337
逆紹介患者数		244

◇てんかん病名を持つ患者の地域別紹介件数

診療科	石川県	福井県	富山県	その他	合計
脳神経内科	81	3	18	2	104
脳神経外科	120	16	32	2	170
小児科	47	9	7	0	63
合計	248	28	57	4	337
	73.6%	8.3%	16.9%	1.2%	
		26.4%			

3) てんかん診療拠点機関のてんかん診療支援コーディネーター業務

てんかんコーディネーター4名（看護師3名、社会福祉士1名）が、てんかんに関する相談業務を担当している。看護師と社会福祉士が連携し、治療面のみならず、地域資源や社会保障制度の活用を含め、より良い生活が送れるよう支援を行っている。

◆相談実績（2025年1～12月）

59件	(内訳)	・ 社会保障制度の活用について	：	45件
		・ 受診について	：	6件
		・ 症状について	：	5件
		・ 治療について	：	2件
		・ 病気について	：	1件
		・ その他	：	1件

4) 地域医療への啓蒙活動

2006年3月15日（日）に、医療従事者を対象としたてんかんの診断・治療に関する最新知見を提供する地域医療連携セミナーと、地域住民を対象にてんかんに関する知識および理解の向上を図る県民公開講座を開催する予定である。

◆地域医療連携セミナー（資料1）

日時：2026年3月15日（日）15：00～

場所：金沢商工会議所2階大会議室

講演：今日からできるてんかん診療の3つの視点
～てんかん診療のシンプルプラクティス～

講師：国立精神・神経医療研究センター病院

てんかん診療部 部長 総合てんかんセンター 副センター長 谷口 豪 先生

◆県民公開講座（資料2）

日時：2026年3月15日16：30～

場所：金沢商工会議所2階大会議室

講演1：災害とてんかん～慢性疾患を持つ人の自助・共助・公助～

講師：金沢大学小児科

特任准教授 黒田 文人 先生

講演2：てんかんの最近の話題

講師：医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院

てんかんセンター副センター長 小児科副部長 中川 裕康 先生

備考：講演終了後、パープルデーのイベント（資料3）として、参加希望者とともに紫にライトアップされた金沢城石川門まで歩き、記念撮影を行う予定である。

5) 学校におけるてんかん教育の推進

てんかん患者の家族からは、教育現場におけるてんかん教育を求める声が多く寄せられている。教育機関においても、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」の施行や、てんかん発作時の対応として坐剤に加えブコラム®口腔用液の投与が認められたことを背景に、てんかんに対する関心が高まっている。

本年度もこうしたニーズに応えるため、教員等を対象としたてんかん教育セミナーを3回開催した。また、てんかん発作の観察や対応、薬剤管理、医療的ケア等に関して、個別の状況に応じた相談や指導を希望する要望に対し、てんかん専門医が特別支援学校を訪問し、医学的助言を行った。

◆教員等対象としたてんかん教育セミナーの開催

◇養護教諭、学校看護師対象

日時：2025年7月28日（月）14：00～15：30

場所：いしかわ特別支援学校（ハイブリット開催）

参加者：93名

講師：金沢大学小児科

特任准教授 黒田 文人 先生

◇教員対象

日時：2025年7月31日（木）14：00～15：30

場所：県立明和特別支援学校（ハイブリット開催）

参加者：100名

講師：医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院

てんかんセンター副センター長 小児科副部長 中川 裕康 先生

◇金沢市保育所（園）・認定こども園・幼稚園職員対象

日時：2025年10月23日（木）14：00～17：00

場所：教育プラザ富樫

講演：保育施設におけるけいれんの対応

講師：医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院

てんかんセンター副センター長 小児科副部長 中川 裕康 先生

◆医療的ケア指導アドバイザー巡回事業

訪問先：いしかわ特別支援学校、小松瀬領特別支援学校、石川県立七尾特別支援学校
県立明和特別支援学校、錦城特別支援学校

訪問者：金沢大学小児科

特任准教授 黒田 文人 先生

医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院

てんかんセンター副センター長 小児科副部長 中川 裕康 先生

6) てんかんビデオ脳波モニター記録の症例検討会

月1回の症例検討会「北陸てんかん・脳波カンファレンス」を、ハイブリッド方式により第4月曜日の午後6時15分から8時まで開催した。医師、看護師、臨床検査技師など多職種が参加し、活発な議論が行われている。

2025年は計11回開催し、出席総数は176名（月平均16名）、検討症例数は31例（月平均2.8例）であった。こうした取り組みを通じ、参加者の中から将来のてんかん専門医が育つことを期待している。詳細は下記の通りである。

◆北陸てんかん・脳波カンファレンス開催実績（2025年1～12月）

開催数	11 回
参加人数	176 人
症例数	31 例

開催日	参加人数	症例数	提示症例の内容
1月	22名	3例	①Lennox-Gastaut 症候群 ②右側頭葉てんかん ③前頭葉てんかん/全般てんかん/睡眠時随伴症
2月	14名	3例	①ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん ②右側頭葉てんかん ③講義：Eyelidmyocloniawithoutabsence
3月	13名	3例	①右側頭葉てんかん+両側視床病変 ②左前頭葉てんかん+FDG-PET 所見について ③講義：てんかんに対する DBS について
4月	14名	4例	①若年ミオクロニーてんかん ②海馬側頭葉切除術を検討している辺縁系脳炎後てんかん ③焦点てんかん（左側頭葉てんかん） ④焦点てんかん（両側側頭葉てんかん）
5月	15名	2例	①左前頭葉てんかん+FCD 疑い ②右前頭葉てんかん+FCD 根治術後+VNS
6月	20名	2例	①発達性てんかん性脳症の脳梁離断後+左前頭葉 FCD 疑い ②HV で欠神発作が誘発されない小児欠神てんかん
7月	17名	3例	①左後頭葉てんかん ②全般てんかん+PNES ③焦点てんかん（自然終息性焦点てんかんの疑い）
8月			休み
9月	13名	3例	①自律神経発作を伴う自然終息性てんかん (SeLEAS) 様で発症した左前頭葉てんかん ②要素性幻視で後頭葉てんかんが疑われた症例 ③全般てんかんが疑われた右前頭葉てんかん
10月	17名	3例	①若年欠神てんかん or 前頭葉てんかん ②右側頭葉てんかん ③左内側側頭葉てんかん
11月	14名	2例	①右前頭葉てんかん+左前頭葉てんかん ②若年欠神てんかん
12月	17名	3例	①脳梁離断術後のてんかん性スパズム+IQSEC2 遺伝子変異 ②全般てんかん (Lennox-Gastaut 症候群?) +高プロリン血症 ③睡眠時棘徐波活性化を示す発達性てんかん性脳症

(資料1)

石川県てんかん治療地域連携協議会主催

てんかん 地域医療連携セミナー

～ てんかん治療の取り組み～

■開催日時 2026年 3月15日(日) 15:00～

■開催場所 **金沢商工会議所 2階大会議室** 会場HP
〒920-8639
石川県金沢市尾山町9-13
TEL: 076-263-1151

■参加対象 **てんかん治療に携わる医療・介護・福祉従事者等**

■参加費用 **無料**

■開催内容
座長) 医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院
てんかんセンター長 廣瀬 源二郎 先生

《講演》
今日からできるてんかん診療の3つの視点
～てんかん診療のシンプルプラクティス～
講師) 国立精神・神経医療研究センター病院
てんかん診療部 部長
総合てんかんセンター 副センター長
谷口 豪 先生

■申込方法 参加を希望される方は、右のQRコードから
『てんかん 地域医療連携セミナー申し込みフォーム』
に入り、必要事項を入力し送信してください。
※申込期限: 2026年2月28日(土)

■お問い合わせ 石川県てんかん治療地域連携協議会 事務局
医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院 地域連携部 地域医療連携室
TEL: 076-252-2101 (代表) FAX: 076-252-0561 (直通)

(資料2)

石川県てんかん治療地域連携協議会主催

県民公開講座

てんかんと共に生きる

～てんかん患者さん、そのご家族の種々の疑問に答える会～

■開催日時 2026年 3月15日(日) 16:30～

■開催場所 **金沢商工会議所 2階大会議室** 会場HP
〒920-8639
石川県金沢市尾山町9-13
TEL: 076-263-1151

■参加対象 **どなたでも参加できます。**

■参加費用 **無料**

■開催内容
《講演①》 **災害とてんかん**
～慢性疾患を持つ人の自助・共助・公助～
講師) 金沢大学小児科
特任准教授
黒田 文人 先生

《講演②》 **てんかんの最近の話題**
講師) 医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院
てんかんセンター副センター長 小児科副部長
中川 裕康 先生

■お問い合わせ 石川県てんかん治療地域連携協議会 事務局
医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院 地域連携部 地域医療連携室
TEL: 076-252-2101 (代表) FAX: 076-252-0561 (直通)

講座終了後、18:00頃よりパープルデイイベントとして参加希望者とともに
紫にライトアップされた石川門まで歩き、記念撮影を行う予定です

(資料3)

パープルデー

2026 in いしかわ

Purple Light Up Project

2026 3/15(日)、26(木) 日没～22:00

ライトアップ場所

①金沢城公園 石川門 ②金沢駅 鼓門

カナダに住む一人の女の子、
キャシディー・メーガンさんが始めた
てんかんを知るためのキャンペーン。
世界中でこの日(3/26)に
てんかんの啓発活動が行われます。
世界中の人が、テーマカラーの
紫色のものを身につけて、
てんかんをもつ人への
応援のメッセージを送ります。

てんかんについて
情報はコチラから

3月26日(木)は
Purple Day

主催: 石川県てんかん治療地域連携協議会
後援: 石川県、医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院、日本てんかん協会(波の会) 石川支部

以上